自転車活用推進法の取り組みについて

公明党　野村　誠

問　**昨年12月の第192回臨時国会において、自転車を利用しやすい環境整備を進める自転車活用推進法が成立し、施行された。自治体は自転車をより一層利用しやすくなるよう計画策定を見据えた取り組みを検討すべきと考えるがどうか。**

答　**土木部長**　自転車活用推進法が平成29年５月１日から施行され、６月13日には国土交通大臣を本部長とする第１回目の自転車活用推進本部が開催されたところです。この会合にて、今後概ね１年後を目途に、国の自転車活用推進計画の策定を目指して作業を進めることが確認されたと聞いています。

　本市としては、ご指摘の自転車専用道路や自転車専用車両通行帯の整備については、現在具体的な計画は策定されていない状況となっています。今後自転車活用推進法第11条にも規定されているとおり、国および県が策定する推進計画が決まった後、本市の実情に合わせた推進計画の策定を検討したいと考えています。

運河駅西口周辺の再整備について問う

流政会　坂巻　儀一

問　**運河駅は、西口駅前周辺と駅から水辺公園へのアクセスを考えた場合、車椅子を使用する障がい者の方や高齢者の方にとって親切な整備がなされているとは思えない。運河駅西口周辺の再整備を東武鉄道（株）と共に再考していく計画はあるか。**

答　**都市整備部長**　運河駅西口駅前の用地の大半は東武鉄道が所有、管理し、改修には東武鉄道の協力が必要となります。以前は変電施設として利用していた未利用地について、東武鉄道に今後の土地利用計画を問い合わせたところ、現時点で整備の予定はないとの回答でした。駅舎と結ばれる道路やロータリー形状がわかりにくく危険なことから、何ができるかを検討し、東武鉄道に提案、協議をします。

　具体的な提案は、用地の関係上、大規模な改修は非常に困難だと思っています。ただ、危険だという状況があるので、まずは歩行者の安全対策を優先に、現場を確認して対応していきたいと思っています。

登下校中の生徒の安全確保のために

公明党　戸辺　滋

問　**江戸川台小学校正門から江戸川台郵便局へと向かう歩道は、ガードレールと防球フェンスが設置され狭隘（きょうあい）な状況にある。雨天時の接触防止や防犯の観点からも、登下校の際には正門だけでなく小学校南側の門を活用すべきと考えるが見解を問う。**

答　**学校教育部長**　江戸川台小学校前の歩道は狭隘であり、特に雨天時は傘などが接触して、すれ違いをしている状況が見られることも認識しています。児童の登下校の際は、スクールガードの方々や教職員が見守り、安全の確保に努めています。また、学校において、歩道内を広がって通行することのないように、児童への安全指導も行い、危険回避に努めています。

　江戸川台小学校の南側の門は、これまで学校内の安全や防犯上のため、引き渡し訓練などの特別な場合を除いて使用していない状況でありましたが、今後は登下校時に限り南側の門を活用できるように現在準備を進めているところです。

要支援者介護はボランティア頼りで大丈夫か

阿部　治正

問　**市は国策に沿い要支援者へのサービスを「緩和した基準によるサービス」やボランティアのサービスに移行させようとしてきた。が、利用者からは専門家のサービスへ期待が強い。的確な支援が行える専門家の介護を重視すべきではないか。**

答　**健康福祉部長**　高齢者が増えていく環境の中では、元気な高齢者が少し手助けが必要な方々を支えていく社会を構築することは今後の介護保険制度を継続していくためにも重要な柱の一つだと受けとめています。

　市のスタンスとしては、今自治会を中心にお願いをしている地域支え合い活動は他の自治体にはない先進事例だと考えています。その共通する理念は、２０２５年問題を視野に入れた流山スタイルであると考えています。

　議員ご指摘の国策を自由に取り入れて、流山市のスタイルとして確立していくべきだ、そこは共通している考え方だと思っています。これが流山市のスタイルだと思っています。

議員提出の可決議案

◆北朝鮮によるミサイル発射に抗議する決議について◆

　国際社会からの厳しい非難の中、北朝鮮は度重なる新型の弾道ミサイルや各種のミサイル発射実験を繰り返し、その開発を加速しつつあります。

　流山市議会は流山市民を代表して厳重に抗議するとともに、核と弾道ミサイルの開発の断念と廃棄を強く求めます。そして、国が、解決に向け総力を挙げた努力を傾注することを強く求めます。

◆夜間中学の設置促進を求める意見書について◆

　昨年４月時点で、公立夜間中学は全国８都府県25市区、31校に広がっています。しかし、夜間中学の新設・運営は、自治体の財政負担及び教職員の確保など多大な負担が伴うことから、政府及び千葉県に対し、夜間中学の設置促進及び運営に向け諸施策を検討することを求めます。

◆千葉県農業施策の拡充等を求める意見書について◆

　千葉県は農業産出額全国第４位となった一方、耕作放棄地は全国ワースト３位となり、将来的に楽観視できません。そこで、以下の実施を県に強く求めます。①県における農業予算を増額し、さらなる充実を図ること。②農業振興に関わる各種支援の充実を図ること。

◆国における平成30年度教育予算拡充に関する意見書について◆

　教育は、未来を担う子どもたちを心豊かに教え、育てるという重要な使命を負っています。そこで、以下を中心に、予算の充実を求めます。①震災からの教育復興にかかわる予算の拡充。②教職員定数を改善する計画の早期策定・実現。③義務教育教科書無償制度の堅持。④就学援助や奨学金事業の予算拡充。⑤総合型地域クラブの育成など、環境・条件の整備。⑥公立学校施設整備費の充実。⑦基準財政需要額の算定基準を改善し、地方交付税交付金を増額すること、など。

◆義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について◆

　義務教育費国庫負担制度は、教育の機会均等とその水準の維持向上を目指して、無償で義務教育を受ける機会を保障し、かつ、一定水準の教育を確保するという国の責務を果たすものです。よって、国に義務教育費国庫負担制度を堅持するよう強く求めます。

納税等状況報告　（平成29年５月31日現在）

流山市議会議員政治倫理条例第５条第２項の規定に基づき納税等状況の要旨を公表します。

議員名	市民税県民税	軽自動車税	固定資産税都市計画税	国民健康保険料	介護保険料	水道料金	下水道料金
野田宏規	○	○	－	－	－	－	－
近藤美保	○	－	○	－	－	－	－
戸辺滋	○	○	○	○	－	○	○
西尾段	○	○	○	－	－	○	○
大塚洋一	○	－	○	○	－	－	－
野村誠	○	－	○	○	－	○	○
坂巻儀一	○	○	○	－	－	－	－
石原修治	○	○	○	○	－	○	○
菅野浩考	○	－	○	○	－	○	○
植田和子	○	○	－	○	－	○	○
笠原久恵	○	－	－	－	－	－	－
森田洋一	○	－	○	－	－	－	－
加藤啓子	○	○	○	－	－	－	－
斉藤真理	○	－	○	－	－	－	－
阿部治正	○	○	－	○	－	－	－
中村彰男	○	－	○	－	○	○	○
楠山栄子	○	－	－	○	○	－	－
西川誠之	○	－	○	○	○	○	○
森亮二	○	－	－	○	－	－	－
徳増記代子	○	○	－	－	－	○	○
藤井俊行	○	－	○	○	－	○	○
中川弘	○	○	○	－	－	○	○
海老原功一	○	－	○	－	－	○	－
根本守	○	－	－	○	○	○	○
小田桐仙	○	○	○	○	－	○	○
青野直	○	－	○	○	○	○	○
乾紳一郎	○	○	－	○	－	○	○
秋間髙義	○	－	○	○	－	○	○

対象者：前年１年間を通じて議員であった者

≪表示例≫

○　当該年度に納付すべき額が、すべて納付されている場合（市・県民税の項目は、非課税を含む。）

△　当該年度に納付すべき額の一部が、納付されている場合

×　当該年度に納付すべき額が、まったく納付されていない場合

―　納税等状況報告の対象外

（注１）介護保険料については、介護保険法第129条２項に基づき、65歳以上の方を報告対象とした。
　なお、40歳以上65歳未満の医療保険加入者が納めている介護保険料については、各医療保険料に含まれるため報告対象外とした。

（注２）議員本人に納入義務がないものは、報告対象外とした。